



プレス・リリース

2011年3月7日

ホステス株式会社／ホステス・エンタテインメント

ホステス・エンタテインメントが、 ソニー・ミュージックディストリビューション、 ソニー・ミュージックネットワークとのパートナーシップを更新へ

情報即日解禁

ホステス・エンタテインメント（会社名：ホステス株式会社 本社：東京都目黒区 代表取締役：アンドリュー・レイゾンビー）は、株式会社ソニー・ミュージックディストリビューション（本社：東京都千代田区 代表取締役 古澤清）と日本国内におけるセールス・流通について、また株式会社ソニー・ミュージックネットワーク（本社：東京都港区 代表取締役 渡辺和則）と配信サービスと共同マーケティングについての業務提携契約を更新することを皆さまにお知らせいたします。この契約更新により、ホステスは日本市場における急速な成長を維持しつつ、コンパクトな独立系の性格を併せ持つという、他に類を見ない体制を保持することが可能となります。

過去2年に渡り、ホステスと2社は、緊密で良好な関係を築いてきました。この連携により、独立系音楽会社に必要な全国規模の展開が可能となったばかりでなく、多くの特筆すべき商業的なシンク・ライセンスも実現しました。

今回の契約更新のお知らせとともに、ホステスはコオペレイティブ・ミュージック（Cooperative Music）とのライセンス契約終了をお知らせいたします。コオペレイティブ・ミュージックは2007年にユニバーサル・ミュージックグループ（UMG）により完全買収となったV2ミュージック・グループの一部であり、今回のホステスと2社の契約更新に伴い、2008年からホステスが日本で展開をしてきましたコオペレイティブ・ミュージックとユニバーサルのレパートリーを終了し手放すこととなりました。

「これらの委託契約更新に疑念を挟む余地はありませんでした。私共はこの2年間に得てきたものを更に発展させていけることを大変喜ばしく思います。

一方コオペレイティブ・ミュージック／ユニバーサル・ミュージックグループ・インターナショナル（UMGI）との契約を終了することは大変残念です。私共と、私共が日本での代理を務めるレーベルやアーティストにとって、日本でのパートナーを変更するという選択肢は考えられませんでした。私共は、UMGIがそのレパートリーをユニバーサル・ミュージック（日本）を通じ発売するという要望を理解し、今後の日本におけるコオペレイティブ・ミュージックとユニバーサル・ミュージックとのビジネスの成功を御祈りしています。」

アンドリュー・レイゾンビー（ホステス株式会社 創業者／代表取締役）

【ホステス・エンタテインメント（Hostess Entertainment）について】

ホステス・エンタテインメントは、日本市場での独自のアイデンティティ確立を目指す厳選された海外アーティストやレーベルの、パッケージ及びデジタル商品全般の国内マネージメント、プロモーション、営業、マーケティング・サービスを展開している。2000年の設立以来、近年日本市場に数多く設立された独立系音楽会社のなかでも、最も斬新かつ刺激的な会社として、その存在感を高めている。これまでにドミノ・レコーディングス、PIASエンタテインメント・グループ、ベガーズ・グループ（XLレコーディングス、ラフ・トレード、4AD、マタドールを含む）などのレーベルと長期に渡りパートナーシップを築くと同時に、海外のトップ・マネージメント会社との先進的な直接の協力関係を築きあげる。これまでにアークティック・モンキーズ、モグワイ、レディオヘッド、ベック、ブロック・パーティー、アニマル・コレクティブ、ナイン・インチ・ネイルズ、ソニック・ユース、ヴァンパイア・ウィークエンド、アデルといったアーティストによる作品をリリースしている。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

ホステス株式会社 プロモーション部 担当：榎本 甲
電話：03-5724-4414
電子メール：press@hostess.co.jp
http://www.hostess.co.jp